

問1 円安が進んだとき、海外での売上を日本円に換算した際の受け取り金額が増加し、利益を得やすくなるのはどのような企業ですか？

1. 輸出企業                      2. 卸売業者                      3. 小売店                      4. 輸入企業

問2 日本銀行が景気や物価を安定させるために、金利の調整などを行う経済上の取り組みを何という？

1. 財政政策                      2. 金融政策                      3. 公共政策                      4. 産業政策

問3 円安によって海外からの資源や食料品の購入コストが引き上げられ、家計に負担をかける要因となる経済現象は何ですか？

1. 物価                      2. 為替                      3. 金利                      4. 賃金

問4 税金の受け入れや国の予算の管理など、政府の資金を取り扱う日本銀行の役割を何という？

1. 発券銀行                      2. 市中の銀行                      3. 銀行の銀行                      4. 政府の銀行

問5 お金に余裕がある人から、必要としている人へ資金を融通する仕組みを何という？

1. 金融                      2. 財政                      3. 貿易                      4. 投資

問6 日本銀行が一般の銀行から預金を預かることで、銀行にとっての銀行として機能していることを何という？

1. 一般の銀行                      2. 発券銀行                      3. 政府の銀行                      4. 銀行の銀行

問7 円安になることで利益が増えやすくなる、海外へ製品を販売している企業を何という？

1. 輸入企業                      2. 小売企業                      3. 製造企業                      4. 輸出企業

問8 物価が継続的に上昇する中で、消費者が自分の持っているお金でどれだけのモノを買えるかという力を何といいますか？

1. 供給力                      2. 生産力                      3. 購買力                      4. 競争力

問9 日本銀行が景気調整のために市中銀行との間で行う、債券の売買による金融政策を何という？

1. 小切手                      2. 手形                      3. 社債                      4. 国債

問10 日本銀行が日本で唯一発行を許可されている、紙幣（日本銀行券）を発行する銀行としての役割を何という？

1. 発券銀行                      2. 一般の銀行                      3. 政府の銀行                      4. 銀行の銀行

問11 景気が悪化している際に、日本銀行が国債を買い入れて市場に資金を供給することで下げようとするものは何？

1. 金利                      2. 配当                      3. 利潤                      4. 賃金

問12 景気の悪化やデフレからの脱却を目指し、市場への資金供給を増やす政策を行う中央銀行を何という？

1. 大蔵省                      2. 財務省                      3. 金融庁                      4. 日本銀行

問13 経済全体でモノの値段が継続的に上がり、貨幣の価値が相対的に下がってしまう現象を何といいますか？

1. 手形                      2. 株券                      3. 債券                      4. 通貨

問14 日本円と外国の通貨を交換する際、1単位あたりの円の価値が下がっている状態を何という？

1. 円安                      2. 円高                      3. インフレ                      4. デフレ

問15 継続的に物価が下がり続け、相対的にお金の価値が上がってしまう経済状態を何という？

1. デフレーション                      2. スタグフレーション                      3. ハイパーインフレ                      4. インフレーション

## 答え合わせ・解説

|     |                               |   |
|-----|-------------------------------|---|
| 問1  | <b>答え 1</b><br><b>輸出企業</b>    | 円安になると、海外で商品を販売して得た外貨を日本円に替えた際、以前より多くの日本円を受け取ることができます。そのため、自動車メーカーや電機メーカーなど、海外での売上比率が高い輸出企業にとっては、業績が向上する追い風となります。             |
| 問2  | <b>答え 2</b><br><b>金融政策</b>    | 日本銀行が行う金融政策は、民間銀行が日本銀行から借りる際の金利を調整したり、市場に出回るお金の量を操作したりすることで、景気をコントロールします。金利を下げれば企業は投資しやすくなり、金利を上げれば景気の過熱を抑える効果があります。          |
| 問3  | <b>答え 1</b><br><b>物価</b>      | 円安になると、海外から輸入する品物の価格が日本円換算で高くなります。このコスト増を避けるために販売価格が引き上げられ、結果として国内全体の物価が上昇します。これが家計を圧迫する大きな要因となります。                           |
| 問4  | <b>答え 4</b><br><b>政府の銀行</b>   | 日本銀行は政府の預金を預かり、国税の受け入れや公共事業費などの支払いを処理します。この役割を担うことで、国の資金を安全かつ効率的に運用することが可能になっています。政府との連携が不可欠であり、中央銀行としての重要な職務の一つです。           |
| 問5  | <b>答え 1</b><br><b>金融</b>      | 預金者からお金を預かり、それを企業や個人へ貸し出す銀行などの金融機関がこの仲介役を担います。お金の貸し手は利息を受け取り、借り手は事業や購入のために資金を得ることで、経済活動が活発になります。                              |
| 問6  | <b>答え 2</b><br><b>発券銀行</b>    | 一般の銀行は、日本銀行に当座預金口座を持っています。日本銀行は銀行の銀行として、民間銀行からの預金を受け入れるだけでなく、銀行間での資金決済や一時的な資金不足に対する貸し出しを行っています。これにより、金融機関全体の安定が保たれています。       |
| 問7  | <b>答え 4</b><br><b>輸出企業</b>    | 円安になると、海外で販売する製品を同じドル価格で売ったとしても、日本円に換算したときの売上高が増えます。また、価格を下げて販売しやすくなるため売れ行きも良くなり、自動車や電機などの輸出企業にとっては追い風となります。                  |
| 問8  | <b>答え 3</b><br><b>購買力</b>     | 購買力とは、お金を使ってモノやサービスを購入する能力のことです。物価が上がると、これまでと同じ金額を払っても以前ほど多くのモノが買えなくなります。つまり、実質的な購買力が低下し、消費者は生活水準を維持することが難しくなります。             |
| 問9  | <b>答え 4</b><br><b>国債</b>      | 日本銀行が市中銀行から国債を買い入れると、銀行の資金が増えて市場のお金の流れが活発になります。逆に、日本銀行が国債を売ると、市中銀行の資金が日本銀行へ移動し、市場のお金の量が減る仕組みです。                               |
| 問10 | <b>答え 1</b><br><b>発券銀行</b>    | 日本銀行は日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券を製造・発行する権限を持っています。私たちの手元にあるお札はすべて日本銀行から供給されており、信用ある通貨として全国で通用しています。                                 |
| 問11 | <b>答え 1</b><br><b>金利</b>      | 日本銀行は国債を買い入れることで銀行の持つ資金を増やします。すると、銀行は貸し出すお金の余裕ができるため、企業や個人へのお金の貸し出しを促進しようと金利を下げます。金利が下がると借金がしやすくなるため、投資や消費が活発になり景気の回復が期待されます。 |
| 問12 | <b>答え 4</b><br><b>日本銀行</b>    | 日本銀行は、日本で唯一の紙幣発行権を持つ「発券銀行」であり、「政府の銀行」として国庫金の出納を扱い、「銀行の銀行」として一般の金融機関へ資金の貸し出しを行います。景気が悪い時は金利を下げるなどして、世の中に出回るお金の量を増やす政策を実施します。   |
| 問13 | <b>答え 4</b><br><b>通貨</b>      | インフレーションが起これると、同じ金額のお金で買えるモノの量が少なくなります。これは裏を返せば、お金そのものの価値（購買力）が低下していることを意味します。モノの値段が上がれば上がるほど、対的にお金の価値は小さくなってしまいます。           |
| 問14 | <b>答え 1</b><br><b>円安</b>      | 円安とは「1ドル=100円」から「1ドル=120円」へ変化するように、外貨を買うために必要な円の量が増えることを指します。これは、円が外貨に対して安くなっていることを意味します。                                     |
| 問15 | <b>答え 1</b><br><b>デフレーション</b> | デフレーションでは、モノの価格が下がり続けるため、企業は売上が減少します。また、お金の価値が上がるため、消費者は将来の値下げを期待して買い控えを行い、さらなる不況を招く悪循環に陥りやすいのが特徴です。                          |